

# 平成 29 年度 公民館運営審議会正副議長会議 開催概要

日 時:平成29年11月14日(火)

午後2時00分から

会 場:横越地区公民館

2階 研修室 B

参加者 25 名(委員 12 名 職員 13 名)

## (1) 公民館の現況について(事務局説明) ※6月の公運審で報告した内容と同じ

○制度統一から 10 月で 5 年たったのでー

- ・使用料について 高い、安い、無料？
- ・コマ割りについて 午前/午後1/午後2/夜間→1 時間ごと
- ・減免について

○事業について 予算(事業費)が減少する一方なのでー

- ・公民館事業の受講料について、有料化はできないか。  
例:西新潟オープンカレッジのような実行委員会をつくって実施する。
- ・講座内容は今のままでよいか、学びのセーフティネットは  
例:親子で参加は、ひとり親やとも働きなどは受けにくい。
- ・講座の方法、やり方に、もっと市民や民間の力を借りられないか。  
例:企業や講師をしたい人、講座を企画したいグループとコラボは。

○利用団体について 利用団体が減少する一方なのでー

- ・どうしたら公民館の利用者、利用団体が増えるのか
- ・減少してもいいが、若い人や新しい人を呼び込めないか。
- ・利用団体連絡協議会の加入者の減少, 役員の不足への対策は。

○貸館について 公民館って何? 使われてない、もったいないー

- ・コミセン等とどこが違うのか、
- ・有利な点は、安い、年間の定期利用ができる、職員がいる、ほかには。
- ・月 2 コマ以上貸せないのか。
- ・貸館だけでなく、設備(例えばリソグラフ)をもっと利用してもらったら。
- ・もっと広報、PRしたいけれど、どうすればいいのか。

○運営について 公民館は地域で管理運営できるか。

- ・一部の公民館で貸館や受付などの一部を委託している。進めた方がいいか。
- ・すべてをお任せする指定管理はできるか。その場合の受け皿は？
- ・指定管理の課題は。貸館はできても講座や学級などの事業もできるのか。
- ・地域でなく、NPOや株式会社などで管理運営できるか
- ・教育委員会から市長部局に移せるか。

## (2) 出席議員の主な発言内容

### 講座の受講者の費用負担について

- 一般の人が公民館へ踏み出す第一歩として家庭教育は非常に重要。受講者に参加の意欲があれば応分の自己負担も必要なのでは。
- 平均年収 120 万と言われる母子世帯では、支出増は負担になる。子どもの虐待などの問題を防ぐためにも、受講料の徴収は最後の砦にしてほしい。
- 公民館の講座参加は、孤立を防ぐための仲間づくりの大事な場であると感じている。行きやすい環境作りを保持してほしい。
- (日中に参加できない人のための)夜間の講座の取組は素晴らしいと思う。母子家庭の方への配慮は必要。他の講座での徴収は必要に応じて。
- 自分の身の周りに、(母子家庭など)対象になるような人がいない。
- 白根ではひとり親向けの講座はやっていない。対象世帯が少ない地域なのでは。実費徴収については選択肢を持たせた方が良いのでは。
- 近隣のコミセンなどで交流している親子連れを見かけるが、こういった人達はゆとりがあり、恵まれているように見受けられる。そういった場所に飛び込めない人がいると思う。気楽に集まれるところがあると良いのでは。一人で悩んでいる人が多い。人との出会いで気持ちが変わる。格差社会の底上げをはかっていければ。
- 社協とのバッティングが無いように。公民館は親が学ぶ場所を提供していくべき。
- 利用者からお金をとる前に、社協との連携など、横の繋がりで財源確保していくべきでは。

### (各館から社協との連携の状況を説明)

- なぜゆりかごの保育料からかなと思う。学びの対価として費用を負担してもらおうということであれば別の部分から切りこめないのか？有料化の時に掲げた利用者への還元が全くできていない。
- 市民のニーズに合っていれば、受講者は集まる。NPO運営に関わっているが、受講者には負担してもらっている。無料でも魅力のない事業は人が来ない。目的や対象によって柔軟に対応したり、すみ分けることも必要。(これは公民館がやるべき事なのか、社協がやるべきことか)

## 今後の公民館のありかたについて

- 黒埼南部で公民館の管理委託を引き受けているが、コミセンの形をとって指定管理を受けても良かったかなと思うこともある。
- 小須戸は、今まちセン化したが、黒埼とは反対に公民館でも良かったかなという声もある。
- 公民館はどういう施設なのか。利益優先なのか。儲からないとやらないのか。

---

## 公民館の今後の在り方について

- 事業の精査と有料化
  
- 貸館、施設利用の拡大
  
- 公民館の合理化
  - 分館の廃止(→集会施設)
  - 基幹公民館への事務の一元化
  - 事業の出前(基幹→地区館、学校、地域)
  
- 他市町村(新潟都市圏)との相互利用